

2015/7

No.19

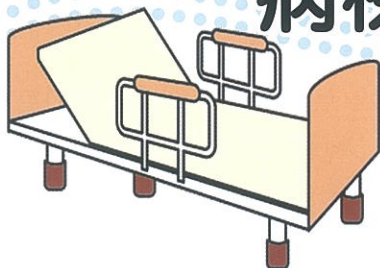


医療法人 成精会

刈谷病院

Harmo-net  
ハモネット

## 病棟再編成について



夏真っ盛りの7月となり、暑い日々が続いています。熱中症に充分気をつけてお過ごしください。

さて、当院は平成24年12月に新病棟・外来管理棟が完成し、A3病棟（精神科救急病棟）、A4病棟（精神病棟15：1）、B2病棟（精神病棟15：1）、B1病棟（精神療養病棟）、B3病棟（精神療養病棟）の5病棟体制となりました。新棟が完成した際に精神科急性期治療病棟から精神科救急病棟に施設基準を変更したのが大きな変化でした。さらに、引き続き各病棟の機能や定床などの病棟再編成について検討を続け、今年の3月から新しい体制となりましたので、変更した事などについてご紹介させていただきます。

今回の大きな変更点として、B病棟全ての施設基準、定床を変更し、A病棟を含めて全体で5病棟から4病棟体制となりました。B1病棟は精神科救急病棟、B2病棟は2階（48床）と3階（22床）を統合して1つの病棟とし、精神病棟15：1を算定することとなりました。その結果、精神療養病棟が無くなりました。病院全体のベッド数も231床から207床に削減しました。期待していた効果としては各病棟の看護職員数が増えることでした。医療従事者の方のご存知だと思いますが、各病棟施設基準で看護職員配置人数が決められています。15：1では平日、休日の日勤帯、夜勤帯の勤務者を平均すると患者さん15人に対して1人以上の看護資格者を配置する必要があります。精神療養病棟より看護資格者の人数は多くなります。精神科救急病棟では10：1となっており、精神科病棟では1番多い人員配置になります。B病棟の看護職員のマンパワーが充実した事によりさらに看護ケア内容が向上できるよう取り組んでいるところです。

もうひとつはB1病棟を精神科救急病棟に変更した事です。当院は以前から精神科救急に力を入れてきました。平成24年12月からA3病棟を精神科救急病棟として運用してきましたが、新たにもう1つ精神科救急病棟を増やすこととなりました。少子高齢化社会が進行しているため、精神科救急病棟にも高齢者の方が入院されることが多くなっており、そこで、B1病棟は高齢者の方など介護が必要な患者さんに対応できるようにさまざまな改修を行いまし

看護部長

木落 勇三



た。例えば、浴室を改修して1人用の浴槽や全身シャワー浴が出来る器具の設置や機械浴槽を導入いたしました。精神科救急病棟の施設基準により個室も増えました。椅子やテーブルも高齢者の方が転落しにくい物に交換するなどの配慮をしております。この2つの精神科救急病棟の特性を生かして、急性期の患者さんに適した療養環境を提供できるよう取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、平成26年7月から今年4月までの改修工事期間中は入院受け入れの制限や、定床削減に伴う患者さんの転院、工事による騒音など、多くの患者さんやそのご家族の方、そして関係諸機関の方にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。また、ご支援、ご協力を賜りありがとうございました。新たな体制になったばかりですので至らない点も多々あるかと思いますが、お気づきの点がありましたらご指導をお願いいたします。

### ゆたかな心、こまやかな関わり、最新の医療

#### 当院の理念

- ① 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- ② 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- ③ 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

#### 当院の基本方針

- ① 病気と治療、障害と支援に対する説明と意思決定のもとに医療と福祉を実践します
- ② 精神科救急に積極的に取り組みます
- ③ 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- ④ 障害者の地域生活支援に積極的に取り組みます
- ⑤ 地域の医療機関、行政、福祉施設をはじめ、すべての社会資源との連携に積極的に取り組みます
- ⑥ 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- ⑦ 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます
- ⑧ 安心、安全な医療福祉環境作りに積極的に取り組みます

## 「アルコール依存症家族教室」

アルコール依存症は、患者さんご本人の身体や心だけではなく、ご家族を含めた生活全体をむしばみ進行していく病気です。アルコール依存症の治療は、ご本人だけが受ければよいというのではなく、ご家族自身も治療に参加し一緒に回復していくことが大切です。

当院は1992年（平成4年）4月にアルコール依存症の治療を本格的に開始しました。その後、ご家族のためのプログラム【アルコール依存症家族教室】もアルコール・リハビリ・プログラム（ARP）に導入し、アルコール依存症で入院された患者さんのご家族の方にはARPの一環として参加していただいています。

開催は外来診療日の土曜日（隔週）午前10時～正午まで、A4病棟ミーティングルームにて行っています。

内容は前半を9回に分け、医師や精神保健福祉士・管理栄養士・看護師が資料やDVDを使用して、講義や勉強会を実施し、後半は参加されているご家族同士で話し合いを行っています。

勉強会においてアルコール依存症を知ることや理解することも大切ですが、話し合いの中で実際の体験談を聞くことで「自分たちだけではなく同じ悩みや苦しみをもち家族がいる」ことに気づき、その中で患者さんとの関わり方などを学ぶことができます。

アルコール依存症家族教室は、外来通院中や入院治療中の患者さんのご家族、またご家族のアルコールの問題で悩みのある方でしたらどなたでも参加できます。

アルコール依存症家族教室以外にも①ご家族自身の負担の軽減②ご本人を病院受診につなげる③ご本人の飲酒行動が変わる（量が減るなど）を目的とした【CRAFT（クラフト）】という対処法を家族支援として行っています。

お問い合わせは、外来看護師もしくはA4病棟スタッフまで、お気軽にお尋ねください。



平成27年 アルコール依存症家族教室予定表

| 看護師 担当  | 医師 担当  | 精神保健福祉士・管理栄養士 担当  |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● アルコール依存症への道<br/>「アルコール依存症とその家族」</li> <li>● 助けを求めない人をどう援助するのか?</li> <li>● 「アルコール依存症の心理」「家族の心理」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● アルコール依存症とは?</li> <li>● アルコールはどのようにして身体と精神を侵すか</li> <li>● アルコール依存症の治療について</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ACってなんだろう?</li> <li>● 自助グループと回復</li> <li>● 栄養指導</li> </ul> |

# 「成精会訪問看護ステーションH.E.J.」紹介

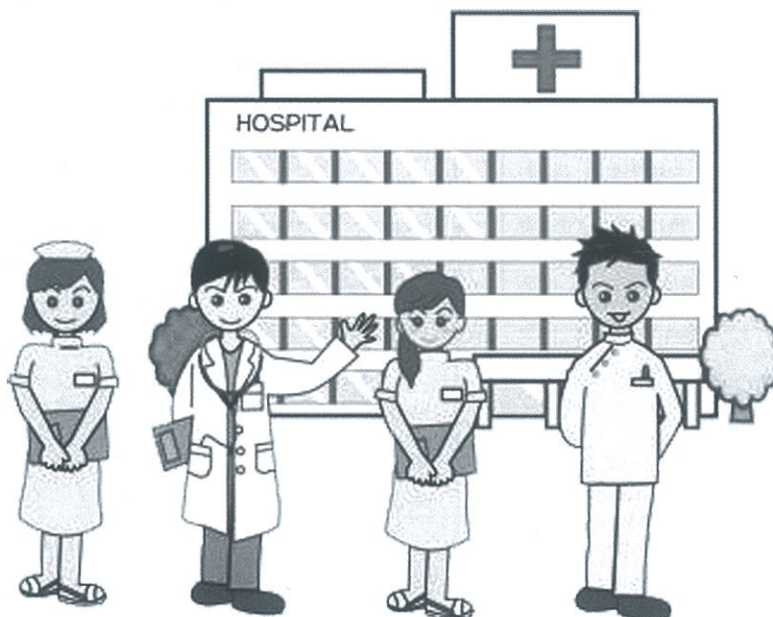
平成17年10月に開設した成精会訪問看護ステーションH.E.J.は、今年で10年目を迎えます。この「H.E.J.」は、ローマ字で表した時の「HOUMON(訪問)、ENJYO(援助)、JIRITSU(自立)」の頭文字です。これは、私たち訪問看護師がかりつけの医師(主治医)との連携のもと、利用者さんが住み慣れた自宅や地域で自立した生活を送れるように支援したい、という気持ちをあらわしています。

スタッフは、現在9名(看護師6名、准看護師1名、作業療法士1名、事務員1名)で、登録している利用者さんは約190名です。訪問地域は碧海五市が中心で、精神障がい者を対象に、1回30分から60分の訪問看護を行っています。

内容としては、療養上のお手伝い(生活リズムや通院、服薬の仕方、健康上の不安を一緒に考えること、主治医への橋渡しをすること)、突然の困りごとへの支援、地域で利用できるサービスの紹介、日常生活上の支援、ご家族の相談相手など、幅広いものになっています。刈谷市障害者支援センターも開設され連携することも多くなってきました。毎年秋頃には訪問看護の利用者さんにご家族を対象に交流会も開催しています。

精神障がい者は病気と障がいが混在しているため、地域で生活するには、「医療」と「福祉」両面からマネジメントを行う包括的な支援が必要です。訪問看護というと一般的には服薬管理や病状の観察といった医療支援がイメージされやすいですが、利用者さんの病気や障がいの部分を捉えつつ、健康的な部分を引き出し伸ばしていく関わりも大切です。私達は、日々の訪問看護の中で、利用者さんの悪い部分や弱い部分に着目するのではなく、元々持っている力、強みを引き出し、利用者さん自身が設定した目標(ゴール)を達成することに焦点をあて、関係機関と連携をとりながら、利用者さんの気持ちに寄り添い、一緒に取り組んでいくことを目指しています。

訪問看護の利用にあたっては、主治医からの精神科訪問看護指示書が必要となりますので、主治医にご相談いただくか、ステーションへお問い合わせください。



文責 福田 ゆかり (看護師)

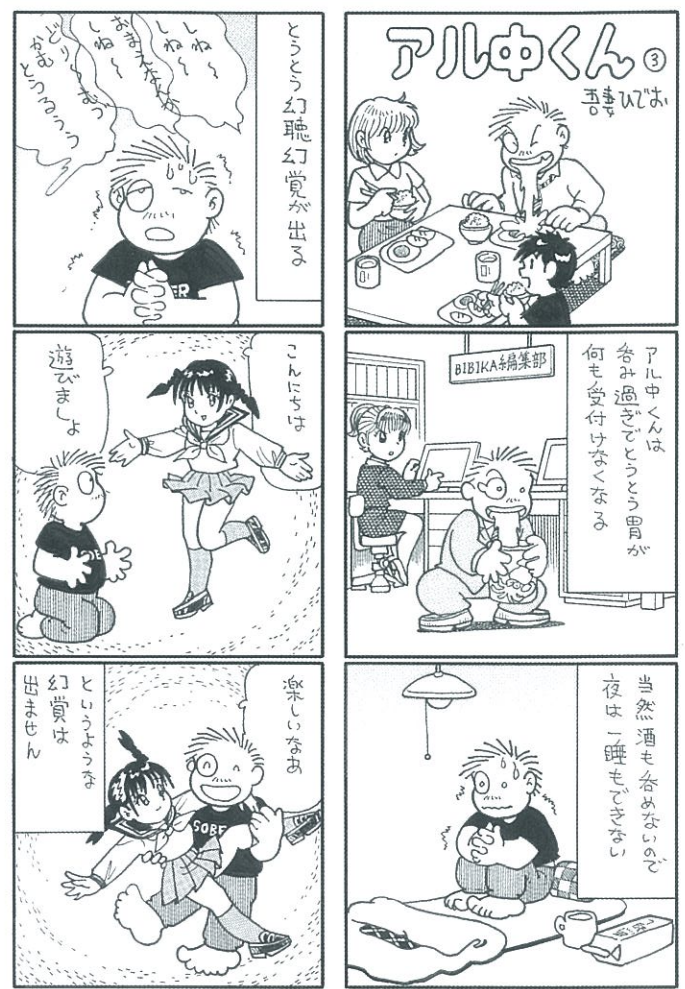
# 第10回記念 あったかハートまつり



6/7(日)に“あったかハートまつり”が開催されました。今回は『第10回記念』という事で、例年の催しに加え、吉本芸人のライブや多くの飲食店の屋台販売、刈谷南中学校音楽部と卒業生の皆さんとのコラボ演奏などを企画し、来場者数は2,000名を超え、大盛況となりました。

第10回目を終え、地域のさまざまな方との交流の輪が広がっている事を感じています。来院されるみなさまの笑顔が今後も続きますように。

文責 大石 眞琴 (管理栄養士)

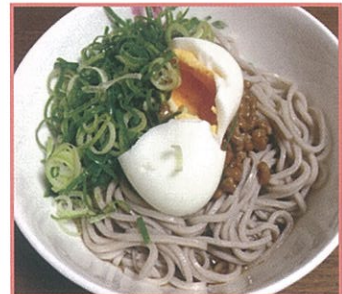


## 簡単ヘルシユレシピ vol.18

蒸し暑くて過ごしにくい季節でも  
食事のとり方ひとつで  
暑さに負けない体になります!

### 冷房病に負けない! 夏バテ知らずの納豆そば

〈1人分 500Kcal 塩分3.5g〉



#### 作り方

- ① 納豆をよく混ぜる。
- ② そばはたっぷりの熱湯で袋の表示どおりに茹で、冷水にとってぬめりを取り、水気を切る。
- ③ 器にそばを盛り、めんつゆをかけ、①と温泉卵をのせ、小ネギを散らす。

#### 材料 (2人分)

- ・納豆 …………… 2パック
- ・そば …………… 乾200g
- ・温泉卵 (市販品) …………… 2個
- ・小ネギのみじん切り …………… 大さじ2
- ・めんつゆ (ストレートタイプ) …… 2/3カップ

#### ワンポイント

納豆は消化を助ける食べものです。また、そばには、エネルギーや老廃物の代謝不良を整え、疲れをとってくれるビタミンB群が豊富とされています。食欲が出ない、夏バテのときのお助け料理にいかがですか?

管理栄養士 任 知淑

#### 編集後記

今回、初めてハーモネットの編集をさせていただきました。あったかハートまつりを挟んでの忙しい中で原稿など、関わっていただいた方にお礼申し上げます。刈谷病院に勤めて2年になりますが、この編集を通じてより刈谷病院のことを知ることができたと思います。今後も広報委員を通じて刈谷病院のことをアピールしていきたいと思っています。

文責 石川 敏樹 (看護師)

- ### 患者さんの権利
- 人間としての尊厳が認められる権利
  - 平等に医療を受けられる権利
  - 十分な説明を受け、知る権利
  - 医療を選択し、自己決定する権利
  - 治療スタッフを知る権利
  - 治療スタッフを知る権利
  - 個人情報の秘密が厳守される権利
- ### 患者さんの責任
- 治療上のルールを守り、治療に参加する責任
  - 治療上で必要な情報を提供する責任
  - 医療費を支払う責任

神経科・精神科  
医療法人 成精会

## 刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町二丁目30番地  
TEL (0566) 21-3511 FAX (0566) 21-3536  
<http://www.kariya-hp.or.jp> 携帯HP / <http://www.kariya-hp.or.jp/i>

交通のご案内

- 国道23号線 野田ICから車で10分 上重原ICから車で10分 無料駐車場 117台
- JR東海道線刈谷駅 南口より徒歩10分
- 名鉄三河線刈谷駅 南口より徒歩10分